

第8期（2021年3月期）決算公告

2021年6月30日

東京都品川区西品川一丁目1番1号
住友不動産大崎ガーデンタワー
株式会社アトラス
代表取締役社長 大橋 修

第 8 期 事 業 概 況

自2020年4月1日

至2021年3月31日

事業の経過及びその成果、事業の状況

エンタテインメントコンテンツ事業を取り巻く環境としては、コンシューマ分野におきまして、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う外出自粛による巣ごもり消費の影響や、家庭用ゲーム機における次世代機の発売及びデジタル化の進展により、PCや家庭用ゲーム機でのダウンロード販売が進むとともに、ゲーム需要の高まりが見られました。今後も新たなビジネスモデルやサービスによる収益機会の多様化や、さらには5Gやクラウドといったテクノロジーやインフラの発展に伴い、グローバルでのゲーム市場の活性化や拡大が期待されます。

このような経営環境のもと、当社は主力パッケージゲームタイトルの開発、販売、ライセンス事業に注力し、業績は好調に推移しました。

パッケージゲーム事業においては、

◇ペルソナ5 スクランブル ザ ファントム ストライカーズ（アジア・欧米）

◇キャサリン・フルボディ for Nintendo Switch（全世界）

◇十三機兵防衛圏（欧米）

◇真・女神転生III NOCTURNE HD REMASTER（日本・アジア）

◇PC版 ペルソナ4 ザ・ゴールデン（全世界）

◇PC版 ペルソナ5 スクランブル ザ ファントム ストライカーズ（全世界）

を発売し計画を上回る販売に至りました。

2019年10月に発売した『ペルソナ5 ザ・ロイヤル』は引き続きリピートを受注し約180万本、『ペルソナ5 スクランブル ザ ファントム ストライカーズ』は約130万本、初めてのPC版リマスターとなる『PC版 ペルソナ4 ザ・ゴールデン』は約90万本と、ペルソナシリーズ合計でおよそ1500万本を超えるセールスを達成いたしました。

国内はもとより、欧米・アジア市場においても販売計画を大きく上回り、引き続き当社の海外売上シェアは高い水準を維持しております。

ライセンス事業においては、2020年10月に「PERSONA5 the Stage」第二回公演を開催、2021年3月に『「真・女神転生」オンラインライブ2021 ～オンガクのコトワリ～』を配信、『『ペルソナ5』オリジナル・サウンドトラック』はロングセラーとなり累計出荷枚数が10万枚を突破、また、他社の有力なスマートフォンゲームタイトルと当社のIPとの大型コラボレーションに取り組み、ご好評を頂いております。

このような事業活動の結果、当社単体の事業計画上の目標数値を大きく上回り、グループへの利益貢献を果たすことが出来ました。

また、『十三機兵防衛圏』『ペルソナ5 ザ・ロイヤル』が、日本ゲーム大賞2020にて年間作品部門「優秀賞」を受賞、『ペルソナ5 ザ・ロイヤル』がPlayStation® Partner Awards 2020 Japan Asiaにて「PARTNER AWARD」を受賞、『十三機兵防衛圏』が第24回文化庁メディア芸術祭にて審査委員会推薦作品に選出されるなど、タイトルの販売数だけでなく作品のクオリティにも高い評価を頂くことが出来ました。

一方で、当社単体の損益は、平成25年11月の事業譲渡に起因し発生した営業権を每期償却しているなどの影響もあり、2021年3月期は損失計上をしておりますが、セガサミーグループの連結決算におきま

して収益面で大きく寄与をしております。またバランスシートでは、自己資本比率が71.6%、流動比率が263.7%と財務面の健全性も高い水準を維持しております。

今後もお客様に喜んでいただけるゲームタイトルを開発し、グループ業績にも貢献し続けていくことが当社の使命だと考えております。

貸借対照表

[2021年3月31日現在]

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	8,669,381	流動負債	3,287,684
現金及び預金	127,608	買掛金	154,083
売掛金	155,374	未払金	440
仕掛品	5,913,986	未払費用	1,647,955
未収入金	1,255,964	預り金	24,188
前払費用	7,029	賞与引当金	431,355
関係会社預け金	805,918	前受金	1,001,200
立替金	149,460	その他	28,461
その他	254,039		
固定資産	3,134,740	固定負債	68,158
有形固定資産	251,582	資産除去債務	68,158
建物	229,277		
工具器具及び備品	22,305		
無形固定資産	2,735,157	負債合計	3,355,842
ソフトウェア	7,011	(純資産の部)	
のれん	2,728,145	株主資本	8,448,279
投資その他の資産	148,000	資本金	10,000
敷金及び保証金	20	利益剰余金	8,438,279
繰延税金資産	147,980	利益準備金	2,500
		その他利益剰余金	8,435,779
		繰越利益剰余金	8,435,779
		(うち当期純損失)	(976,273)
		純資産合計	8,448,279
資産合計	11,804,122	負債・純資産合計	11,804,122

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

〔 自 2020年4月1日
至 2021年3月31日 〕

(単位：千円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	10,000	-	-	-	2,500	9,412,053	9,414,553	9,424,553	9,424,553
当期変動額									
当期純損失(△)				-		△976,273	△976,273	△976,273	△976,273
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△976,273	△976,273	△976,273	△976,273
当期末残高	10,000	-	-	-	2,500	8,435,779	8,438,279	8,448,279	8,448,279

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個 別 注 記 表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

個別法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定額法を採用しております。

② 無形固定資産

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間である5年間の定額法によっております。

(3) のれんの償却方法及び償却期間

のれんは、効果の発現する期間を合理的に見積もり、その年数である10年間の定額法により償却を行っております。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額の当事業年度の負担額を計上しております。

(5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① 消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

② 連結納税制度の適用

セガサミーホールディングス株式会社を連結親法人とした連結納税制度を適用しております。

③ 連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用

当社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

2. 表示方法の変更に関する注記

「会計上の見積りの開示に関する会計基準」(企業会計基準第31号 2020年3月31日)を当事業年度から適用し、個別注記表に会計上の見積りに関する注記を記載しております。

3. 会計上の見積りに関する注記

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、当事業年度においては開発遅延が発生いたしました。翌事業年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響あるものの、需要が年度を通じて緩やかに回復するものと仮定し、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、この仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルス感染症による経済環境への影響が変化した場合には将来の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度末における発行済株式の種類及び株式数

種 類	発行済株式の数 (株)
普 通 株 式	10
計	10

(2) 配当に関する事項

該当事項はありません。

以上